

III

2015年に向けた 地域づくりの基本方針



2015年に向けた地域づくりの基本方針

- 2015年までの6年間の地域づくりにおいて、まず、当面は未曾有の経済危機からの立て直しを図るため、雇用対策や中小企業対策に取り組むとともに、地域医療をはじめ県民生活を不安に陥れている様々な社会システムのほころびに対する安心社会の再構築を図るなど、直面する危機からの脱却を図り、次なる発展に備えた足場固めをしっかりと行っていく。
- その上で、現在の閉塞した状況を乗り越えた後の新たな社会、例えば、
 - ◆中国やインドなどの新興国がエンジンとなって世界経済の成長をリードし、そうした新興国が、巨大な市場やグローバルな開発・生産拠点として、さらには資源や食料なども含め、世界経済の中で大きな存在感を示している社会
 - ◆資源・環境制約が一層高まっていく中で、世界各国による環境技術の開発競争が展開されることによって、省資源型の産業活動やライフスタイルへの転換が進み、環境と経済が調和しながら持続的に発展していく社会
 - ◆社会が成熟し、知的価値がより重視されていく中で、新たな文化や価値を発信することができるソフトパワーを持った地域が活力を持ち、世界の中で存在感を高めていく社会
 - ◆本格的な少子高齢社会を迎える中、現役世代と高齢世代がともに意欲と能力を発揮しながら、支えあい、助け合うことで、地域の活力を維持し、安心を実現していく社会

このような社会の到来を先取りし、家庭や地域の絆の再生による安心の基盤づくりや将来に希望を持つことができる社会づくりを進めるとともに、大きな時代潮流をチャンスと捉え、持続可能な産業・社会構造への転換、さらには、新たな文化や価値の創造・発信などを中長期の視点から着実に進めていく。そして、そのような先駆的な取組の成果や堂々とした地域活力によって、世界の中で存在感を示すことができる風格ある大都市圏づくりをめざしていく。

- こうした基本方針を表すキャッチフレーズとして、

安心、希望、そして風格ある愛知へ

を掲げることとする。

<6年間の地域づくりのイメージ>

